

砂不足とは…？

フレッシュマン・オカザキのインド通信

お世話になっております。新年が明けて早や1ヵ月が経ちました。中国はいよいよ旧正月が近づき、ご迷惑をお掛けしている部分もあるかと思えます。申し訳御座いません。毎年の事とはいえ、この時期はやはり混乱が多くなってしまいます。値上げの件もまだまだ落ち着きを見せる様子はありません。。。冒頭から中国の状況を書かせて頂きましたが、私が皆様にお伝えしたい事は…

インド加工に大幅な値上げはありません！ という事です。笑

この機会(?) にインド加工について知りたいというお声があれば、お申し付けください！

とはいえ、インドも現在かなり複雑な状況に陥っているのは間違いありません。インド石種の超代表格であるクナム、ひと昔前は10~15ほどの丁場がありましたが現在は採掘がとて不安定な1丁場しか稼働しておりません。中国市場にはまだ在庫大量にあるのでもう暫くは保ちそうですが、丁場再開が先か在庫が尽きるのが先かという状況に陥るのではないかと思われます。丁場停止以外にも、YKDを含む需要の高い丁場は大幅な値上げを敢行し、大きな影響を与えています。

それもこれも原因は、政府による環境規制(Environment Clearance)によるものです。2017年4月のメルマガで詳しくまとめておりますので、ご興味のある方はご覧ください。

そんな中、恐ろしいニュースが飛び込んできました…

世界を揺るがす、砂不足問題！

「え…？水不足でも食糧不足でもなく、砂不足??」と思ったのは私だけではないはずです。もちろん水不足も食糧不足も深刻な問題なのですが、その次に深刻なのは砂不足と言われています。



砂は私たちの生活に大きく関係している貴重な資源です。たとえば、ガラスやコンクリートなどの建築資材、光ファイバーやパソコン、携帯電話の製造にも原料には砂が使われています。それだけでなく、私たちが日常的に使う洗剤、トイレトーパー、歯磨き粉にさえも砂使用されている砂。こうやって見ると、私たちの生活に砂が深く関わっている事が分かりますよね。何よりも多く砂を必要とするのは建築資材です。コンクリートの主原料となる砂が、大量に必要となるからです。世界各地で進む都市開発の波が、近年

その需要を急速に引き上げています。

シンガポールはその砂の需要が最も高い国のひとつといわれています。

アジアの金融センターとしての地位を固めつつあるこの国では、過去 30 年間で人口も 2 倍に急増。緊急対応策として政府は大量の砂で海を埋め立てることによって、人工的な土地を増やしてきたのです。近隣隣国からの砂の輸入に頼らざるを得ないこの状況に ASEAN（東南アジア諸国連合）は、過度な砂の輸出禁止策を取って対策をしています。

不足する砂の利権を巡っての争奪戦は、いまや「**SAND WAR（砂の戦争）**」と言われるほどで、大金が飛び交う大型市場と化しています。これに目をつけた採掘権を持たない違法な砂採掘業者は「**サンドマフィア**」と呼ばれ、盗掘や密輸を専門に行うブラックマーケットまで存在するほどに逼迫した状況が続いています。

食料や水の不足と違って、ライフラインに直結しづらい砂問題。その分、深刻さが掴みづらいのも当然かもしれません。でも、もはや状況は一刻の猶予もない様子。原油や天然ガス、レアメタルなど他の天然資源と、すべて同じ目線で考えた方がよさそうです。

しかし、恐ろしいニュースとはこの事ではありません。

私が最も震え上がったのは…

チェンナイ最高裁判所、タミルナドゥ州内の全ての砂丁場の稼働を 6 ヶ月以内に停止するよう勧告を発令しました。上記の事が原因でこのような発令が出ているようです。インドの事ですから反対の声が多く延期されたり、盗掘が横行して結局野放し、みたいな状況も考えられますが、近いうちに正式

な採掘は出来なくなるという事は間違いなさそうです。

ここで一番怖いのは、そうこうしているうちに石材丁場に白羽の矢が立つのではないか？という事です…。 有り得なくない、むしろ可能性は低くないとまで思ってしまいます…。そうなれば私はクビになってしまうので しょうか…泣

冗談（であってほしい）はさておき、我々石材業界に影響が及ばない事をただひたすら願うばかりです…。

暗い話ばかりでしたので、最後に明るいニュースを！

自社クンナム、始動間近！！

以前よりお伝えしていた自社クンナム(とは言っても、弊社協力工場の自社クンナムですが…笑) がいよいよ採掘開始まであとわずかというところまで漕ぎつけました！！ 1年以上前から間もなくです！と言っている気もしますが…本当に間近になっています！



↑こちらが丁場です！当然ですが広大な丁場も最初は普通の山なんですね…



↑ 右側の写真、シールを貼っている方が中国でよく使われるクンナム-E、貼っていない方が今回のクンナムです。クンナムの特徴である独自の目合いを持ちながら、非常に濃い色合いです。

超難関である政府の採掘許可や土地購入申請は既に潜り抜けており、残るは丁場までのトラックが通る道を作るだけとの事です！！(しつこいようですが…) これは本当に本当に間近なようです！！

こちらのクンナムは非常に色が濃く、今までのクンナムの中でもかなり上質な部類に入るのではないかと思います。単価的にはまだはっきりとはわかりませんが、皆様にご提供できるように工場と協力して進めていきます。続報をお待ちいただければと思います！

それでは今月はこの辺で失礼いたします。

最後まで読んで頂き、有難う御座いました！

2018/02/01 オカザキ